



年頭のごあいさつ

会長 清水 順三

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、2027年の開業を目指すりニア中央新幹線の愛知県内での本格工事着工、国産旅客機として約50年ぶりの開発となる「MRJ」の飛行試験のスタートなど、本県地域の夢を乗せたプロジェクトが大きく進展しました。そうした中、昨年10月に山形県で開催された「第54回技能五輪全国大会」では、12年連続で最優秀技能選手団賞を受賞するなど本県選手の活躍は目覚ましく、明日の愛知のものづくりを担う若き技能者の活躍を大変心強く思うとともに、当協会事業の重要性と責任の大きさをあらためて認識した一年となりました。当協会の各種事業が順調に実施できましたことは、会員を始め関係事業所、団体の皆様のお力添えの賜物と厚く御礼申し上げます。

愛知県では、2019、2020年度における「技能五輪全国大会」の県内開催が内定し、さらに2023年の技能五輪国際大会開催の招致を目指しています。こうした、活気あふれる話題を将来の成果に結びつけるためには、「ものづくり人材」の確保と育成が益々重要となってまいります。企業・団体の人材育成を支援する当協会の果たすべき役割は、一層、高まっていると考えます。

今年も、基幹事業である技能検定試験の着実な実施、監督者訓練を始めとした企業の人材育成の取組への支援、若年技能者等への技能の伝承や、次代の愛知を担う子供たちの、ものづくりへの興味を高める取組などを引き続き積極的に進めてまいります。また、外国人技能実習制度の改正にともなう基礎級技能検定への対応といった新たな課題にも注力してまいりますので、会員の皆様にも引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、関係者の皆様の更なるご活躍、ご発展を心より祈念し、年頭のごあいさつといたします。

平成29年元旦